



堺・ごみ減量4R大作戦実施中!

—ごみから環境問題を解決する—

2022年7月から2024年3月まで「堺・ごみ減量4R大作戦」を実施しています。
市民、事業者、市がそれぞれの役割を果たすことでごみを減らし、環境問題の解決をめざします。

Q1

なぜ今、ごみを減らさなければならないの?

私たちが日々繰り返している「捨てること」が地球環境問題につながっています。
また、今のごみ排出状況では市で安定的なごみ処理を続けることが難しくなります。

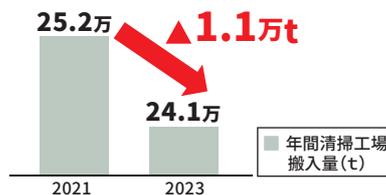
ごみを燃やすときに発生するCO₂は地球温暖化に

捨てられたプラスチックが海に流れて海洋汚染に

Q2

どれだけのごみを減らさなければならないの?

安定的にごみ処理を続けるには、2021年度比で市全体目標の**1,1万t**削減のうち、事業者全体で**2,365t**のごみ削減が必要になります。



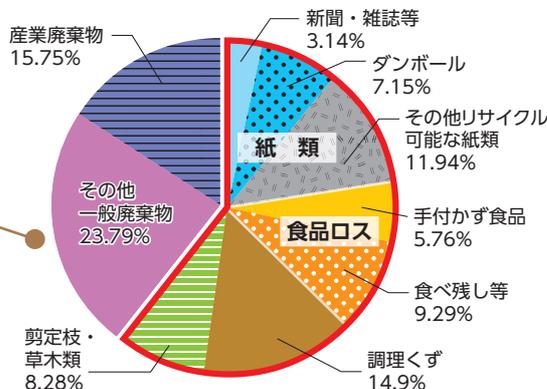
市民	事業者	行政
4Rを取り入れながら使い捨てプラスチックなどを削減!	排出抑制・適正排出などの取り組みにより古紙や食品ロスなどを削減!	家庭から排出される古紙やプラスチック製品などの資源化で削減!
1人1日 18g削減	年間 2,365t削減	年間 3,500t削減

それぞれの削減量の積み重ねで
年間約11,000tの削減を達成

Q3

どのごみを減らすことが必要なの?

2019年度事業系ごみ組成分析結果



事業系ごみの**60%以上**がリサイクル可能なものと減量化可能なものです。

特に排出量の多い**紙類**、**食品ロス**を減らすことが重要です!

ごみはまだまだ減らせるね!



堺市環境マスコットキャラクター「ムーヤン」



事業系一般廃棄物の減量化・リサイクルの手順

- ①ごみの管理担当者（ごみマイスター）を決めましょう
- ②事業所から出るごみの種類・量を把握しましょう
- ③ごみの4Rに取り組み、ごみを減量しましょう
- ④事業所からどうしても出るごみのうち、リサイクル可能なものを分別しましょう
- ⑤残りの廃棄物を、産業廃棄物と事業系一般廃棄物に分別して適正に処理しましょう

4Rの推進

ごみを減らすために、堺市では、「ごみの4R運動」を推進しています。事業所内で取り組むだけでなく、消費者の家庭でもごみの減量化・リサイクルを進めることができるよう、4Rの推進に取り組みましょう。

Refuse リフューズ 発生源でごみを断つ

- オフィスや工場ですぐの文具や資材等の購入量を必要最低限にする
- 業務内容を見直し、過剰な仕入れや返品によるロスを減らす
- 消費期限近な商品等は、値引きするなど買い求めやすくして、なるべく廃棄しない
- 商品の過剰包装をやめ、簡易包装に努める
- レジ袋、ストロー、スプーン等使い捨てプラスチックの利用確認を徹底するなど、使用を削減する

Reduce リデュース ごみとなるものを減量する

- 紙の節約（両面コピーの徹底等）やペーパーレス化を進める
- 使い捨て用品の使用を控え、詰替え用品を使用する
- 小売店では、バラ売りや量り売りできる商品を取り入れる
- 飲食店では、小盛りメニューの提供や持ち帰りの実施など食品ロスの削減に努める
- 生ごみはよく水をきって捨てる

Reuse リユース くり返し使う

- ミスコピーの裏面を印刷用紙やメモ用紙として利用する
- 使用済みの封筒を加工し、社内連絡文や書類回覧に利用する
- 酒などの飲料や醤油などは、リターナブルびんを使用する
- 不要になった机や棚などの備品を必要とする他の部署で使用する
- 不要になった資機材などは、リユースショップやアプリなどを活用する

Recycle リサイクル 資源として再利用する

- ごみ箱を色分け、種別を明示する等、誰が見ても分別が分かる環境づくりをする
- 紙類、廃木材、金属等、リサイクル可能なものは分別し、再利用する
- 食品廃棄物や建設廃棄物などは、各種リサイクル法に則ってリサイクルする

事業者の皆様へ

事業所から出る

紙類

令和6年1月1日から

の排出ルールが変わります

リサイクル可能な
紙類の清掃工場への
搬入を

禁止



します!



ごみとして出したり、ごみに混ぜたりすることはできません。

堺市 紙類のリサイクル

検索